

音楽文化論

特別講義

第12回京都産業大学文化学部聴覚文化セミナー

Ensemble Passamezzo Antico



La vita come il basso ostinato

チャッコーナ、ベルガマスカ、フォリア、パッサカリヤ、そしてパッサメツツォ・アン
ティーコ。「反復低音」「執拗低音」と呼ばれ、一定の通奏低音あるいは和音のバ
ターンが繰り返されながら、上の旋律が時に通奏低音が変奏を繰り返す主に舞
曲です。日々決まったことを繰り返しながらも、どこかしら違ったことを加えていく
人生のようです。今回の公演では、17世紀イタリアにおいて数多く作曲されたこれ
らの舞曲と、ソナタやカンツォンのような純粋な器楽曲を織り交ぜつつ、美しく美
しく激しいイタリア初期バロック器楽音楽をお届けできればと願っています。

ブオナメンテ	ソナタ作品4第10番
フレスコバルディ	トッカータ (チェンバロ独奏)
ベルターリ	チャッコーナ (ヴァイオリン独奏)
コルベッタ	ベルガマスカ (バロック・ギター独奏)
〜ヴァイターリ	ベルガマスカ (チェロ独奏)
デ・セルマ	カンツォン第4番 (リコーダー独奏)
マリーニ	ソナタ作品8第3番
カステッロ	ソナタ第2集第12番 ほか

曲目は都合により変更する場合があります

リコーダー、バロック・ギター

竹内 茂夫

ヴァイオリン

上田 浩之

チェロ

吉田 健

チェンバロ

山下 佐智子



2016. 7. 17. (日) 16:00開演 15:30開場

京都産業大学 サギタリウス館 2F 階段状エリア

サギタリウス館は
Cです



入場無料

京都産業大学へのアクセス

京都市営地下鉄北大路駅より 市バス北3系統終点下車 または
京都市営地下鉄国際会館駅より 京都バス40系統終点下車
アクセス <http://www.kyoto-su.ac.jp/access.html>

キャンパスマップ

http://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/cam_map.html

お問い合わせ

竹内 茂夫 (文化学部国際文化学科)

atake@cc.kyoto-su.ac.jp

<http://ksufuezemi.blogspot.jp>

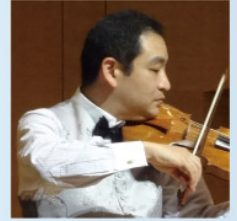
初期イタリア・バロックを好んで演奏しレッスンも受けていたヴァイオリンの上田とリコーダーの竹内のうち、2012年2月の愛好家コンサート(アンリユウ リコーダーギャラリー)にて竹内のフレスコバルディのチェンバロを山下が弾いたことをきっかけに、山下の発案でこのプロジェクトが始動。直後に竹内と山下が太田光子・平井み帆両氏のマスタークラスをカステッロで受講、夏には上田も交えた3人でリハーサルを行い平井み帆氏によるカステッロのレッスンを受講、その後チェロの吉田も加わってリハーサルを行い、伊左治道生氏、笠原雅仁氏によるフォンタナなどのレッスンを経て、2013年に京都と大阪にて第1回公演を行った(舞曲ではパーカッションの杉本寿久氏が友情出演として参加)。2014年2月15日には、久保惣美術館(和泉市)にて、笹山晶子氏を入れた公演を行なった。名前は、パッサメツォ・アンティーコと呼ばれる一定の低音または和声進行あるいはその曲に由来する(近い例としては「グリーンズリーヴズ」)。全員アマチュアながら初期バロックに特化した珍しいアンサンブル。2年に1回程度の公演を目指している。

リコーダー、バロック・ギター 竹内 茂夫



名古屋市出身。高校時代からリコーダーと古楽を独習し、オランダ在外研究時にリコーダー製作家・演奏家の斎藤文誉氏を通して研鑽を積む。バロック・ギターを竹内太郎氏に師事。リコーダーを太田光子氏に師事し、山岡重治、Kees Boeke、Walter van Hauwe、本村陸幸、辺保陽一、浅井愛、宇治川朝政各氏のレッスン、向江昭雅氏の福岡古楽音楽祭リコーダーオーケストラに参加、バロックフルートで前田りり子氏、コルネット(ツィンク)で上野訓子氏のレッスン、初期バロック音楽で笠原雅仁、上野訓子氏のレッスン、大塚直哉氏のワークショップを受講。17世紀音楽を中心に演奏活動を行い、毎年無伴奏リコーダー・リサイタルに呼ばれている。全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール審査員、京都産業大学神山交響楽団トレーナー。聖書ヘブライ語を中心にしたSEM言語学、聖書の楽器と音楽、古楽史などの研究と教鞭も取る。

ヴァイオリン 上田 浩之



岡山市出身。4歳よりヴァイオリンをはじめ、守屋美枝子氏、故木村善之氏、故工藤千博氏の各氏に師事。主小学生から大学生まではオーケストラで、大学卒業後は室内楽を中心に演奏活動を行っていた。数年前より古楽の演奏活動をはじめ、バロックヴァイオリンを松原優子氏に、ヴィオラ・ダ・ガンバを頼田麗氏に、通奏低音を岩淵恵美子氏に師事。また寺神戸亮氏、グレン・ウィルソン氏などの公開レッスンを受講している。最近では笠原雅仁氏、上野訓子氏の講座、レッスンを受講。初期バロックの演奏様式を学んでいる。現在は古楽アンサンブルと弦楽四重奏を中心に演奏活動を行っている。このえ弦楽四重奏団、アンサンブル・シュシュ、アンサンブル・プチフル各メンバー。

チェロ 吉田 健



兵庫県出身。高校在学中にファゴットを、大学在学中にチェロを始める。学生時代からしばらくはアマチュアオーケストラでの演奏を中心に活動していたが、古楽に興味を持ち2006年にバロック・チェロ(レプリカ)を手にして以降は主にオリジナル楽器を用いた小編成アンサンブルでの演奏活動を行っている。ファゴットを武田信行氏に、チェロを河原(諏訪)裕美、山崎泉、故榎本辰郎、上田康雄、木村政雄、北山悠祐、野田祐子の各氏に、ピアノを斎藤治代氏に、バス・ヴィオールを頼田麗氏に、古楽奏法を佐藤泉氏に師事。鈴木秀美、高橋弘治、ヴィーラント・クイケン各氏のマスタークラスを受講するなど、愛好家として研鑽を積んでいる。アンサンブル・シュシュ、FELIX室内合奏団、セント・マーティン・オーケストラ各メンバー。

チェンバロ 山下 佐智子



和歌山大学教育学部特設音楽科卒。ピアノを故住往雅司、新田明美、チェンバロと通奏低音を中野振一郎各氏に師事。大学在学中よりアンサンブル活動を行い、和歌山市芸術フェスティバル等に出演。1995年よりバロックの旅人たちを主催。2000年から2002年にかけてミレニアム・パッサ・プロジェクトを立ち上げ、ブランデンブルグ協奏曲5番、チェンバロ協奏曲のソリストを務める。ワークショップ、公開レッスンで故芝崎久美子、ミッチ・メイヤーソン、ロバート・ブラウン、グレン・ウィルソン、平井み帆、三和睦子、守安功、寺神戸亮、伊左治道生、笠原雅仁各氏のレッスンを受講する。アンサンブル・プチフルを主宰。2014年秋よりバロックダンス教室「一日お姫様」、2015年1月より定期バロックダンス教室「お姫様アカデミー」を企画、始動させ、音楽関係他のイベント・セミナーサポートも行っている。

神戸公演もあります

2016. 7. 18. 月・祝

15:00開演 14:30開場

母の家ベテル
1Fホール

阪急御影駅下車徒歩7分
JR六甲道駅または
住吉駅下車徒歩15~20分

■アクセス■

<http://www.motherhouse-be-thel.com/アクセス/>



「笛ゼミ」のご案内

文化学部国際文化学科では、次の授業で18世紀以前の「古楽」の歴史を、演奏の実践を交えながら学んでいます。毎年12月頃には3つの演習合同で「笛ゼミ演奏会」を11号館1Fロビーなどで行っています。

http://ksufuezezi.blogspot.jp/p/blog-page_28.html

音楽文化論A	旧約聖書時代からルネサンス期まで
音楽文化論B	宗教改革期からバロックの終わりまで
歴史文化基礎演習	バロック期の音楽の歴史
歴史文化演習I	旧約聖書時代からルネサンス期までの音楽の歴史
歴史文化演習II	卒業研究